

# 『中小企業景況調査概況』

福井県信用保証協会では、協会利用企業者の現状を把握し中小企業の経営をサポートするため、景況調査を実施しましたので調査結果をお知らせいたします。

(当協会の利用企業は従業員20人以下の企業が9割以上を占めています。)

## 【概要】

- ・ 今回調査における中小企業の景況感は、「業況」、「売上高」、「採算」、「資金繰り」で前回(平成29年10~12月)調査に引き続き改善している
- ・ 来期(平成30年7~9月)については、「仕入価格」以外の全ての項目で悪化が予想されており、かつ、人手不足による問題が深刻化していることなどから、先行きは不透明な見通し

## 【保証動向】[平成30年度(4~6月末)]

- ・ 平成30年度(4~6月末)の保証動向は、保証承諾が前年比244.4%となり、平成30年2月の大雪の影響による資金需要が保証承諾を大きく増加させる要因となった
- ・ 代位弁済は、前年比93.1%と減少したものの、条件変更による返済緩和と債権の残高は依然として高水準で推移しており、予断を許さない状況にある

## 【企業の声】

- ・ 価格競争が激しく利益を上げるのは大変だが、きめ細やかな対応で受注を確保し、売上は安定している
- ・ 受注の減少が長期化している。今後も不透明で不安
- ・ 仕入価格の上昇を販売価格に転嫁することが難しく、利益が減少する
- ・ 仕事はあるが人手不足で受注を調整しないといけない状況
- ・ 高齢者による経営のため、時代の流れに対応できていない

## 【景況アンケート】[当協会利用の1000企業を対象に実施、333企業が回答(回答率33.3%)]

- ・ 今期(平成30年4~6月)の業況DI、売上高DI、採算DI、資金繰りDIはいずれも平成20年1月の調査開始以来、過去最高の数値となった
- ・ 経営上の問題点としては、「人手不足」が最も多く見受けられた
- ・ 平成30年2月の大雪により、半数の企業が影響を受け、一部の企業には未だ影響が残っている